

# 「Q-U」について

佐賀市立東与賀中学校

より充実した学習指導と生徒指導を展開するために、今年度より「Q-Uテスト」を実施しました。

Q-Uテストの結果を分析することで、学級づくりや生徒理解に生かし、よりよい学校生活と友達づくりを進めます。

## ①「Q-U」でわかること

子ども個人と、学級集団の情報から、不登校、いじめ、学級崩壊などの問題に対応するデータが得られます。

- ・不登校になる可能性の高い子どもはいないか
- ・いじめ被害を受けている可能性の高い子どもはいないか
- ・各領域で意欲が低下している子どもはいないか
- ・学級崩壊に至る可能性はないか
- ・学級集団の雰囲気はどうか

以上のような、情報が得られます。つまり、現在学校現場で深刻な問題となっている不登校問題、いじめ問題、学級崩壊の問題に対応するデータが得られるのです。

## ②「Q-U」は具体的にどのような目的で使用されるのか？

代表的には、以下の4つです。

1. 不登校の予防として
2. いじめの早期発見、予防として
3. 学級崩壊の予防として
4. 教育実践の効果測定として

## ③学級満足度尺度の見方

承認得点は、自分が級友から受け入れられ、考え方や感情が大切にされていると感じられる得点を表しています。

得点は高いほど大切にされていると感じていることを表します。

被害得点は、トラブルやいじめなどの不安がなくリラックスできているかの得点を表しています。

得点は低いほどリラックスしていることを表します。

<学級生活満足群>学級内に自分の居場所があり、学校生活を意欲的に送っている児童・生徒

<非承認群>いじめや悪ふざけを受けてはいないが、学級内で認められることが少ない児童・生徒

<侵害行為認知群>他の児童・生徒となんらかのトラブルがある可能性が高い児童・生徒

<学級生活不満足群>

耐えられないいじめや悪ふざけをうけているか、非常に不安傾向が強い児童・生徒。特に要支援群の児童・生徒はその傾向がさらに強く早急な支援が必要。

## ④学校生活意欲プロフィールの見方

学校生活における意欲や充実感の高さを、各領域別に見ることができます。

得点は高いほど、それぞれの項目に対する意欲が高いといえます。

## ⑤学校生活意欲総合点の分布の見方

学級・学年の一人ひとりの各領域の得点や総合点を整理し、学級・学年集団全体の意欲の状況を見ることができます。

5段階の評定で、5の段階に近いほど総合的な意欲が高いと考えます。

## ★改善に向けて取り組んだこと★

○学年の生徒の実態把握をおこない、学年での情報の共有化を図る。

○学年の共通理解のもと、生徒一人一人に応じた支援を行う。

○自ら考え、判断する自己決定の場を設定する。

○生徒会活動、学級活動での出番・役割を設定し、できたことに対して承認することを通して自己肯定感を高め、集団での活動の活性化を図る。

## ★学校全体としての成果★

○学年の共通実践により「友人との関係」「教師との関係」「進路意識」について改善が図れた。

○学年の共通理解による個に応じた支援の成果として学年全体の学校生活意欲が上昇した。

## ★学校全体としての課題★

○今後は、数値目標を設定し、取り組むことが必要である。

○「構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを年間を通して計画的に実践し、自尊感情やコミュニケーション能力の向上・育成をめざす。

○生徒の出番・役割をより多く設定し、それを承認することで、人の役に立つ喜びを感じさせる。友人同士でも良いところを認め合うようにする。

